



県議会報告 岡本かずやの

「元気印」

四万十市事務所 :0880-34-3174 携帯:090-7573-8193

2023年10月15日 No.21

9月定例議会。新食肉センター整備費の軽減を



☆捕獲器で避妊手術などを待つ保護猫です。当日は二二頭が手術を受けたそうです。

和也の近況

十三日で議会閉会です。朝晩めっきり寒くなりましたね。季節の変わり目です、皆さん体調管理を万全にして下さい。

今議会、私の質問で「野良猫の保護活動の支援について」を行いました。質問の前に偶然、市役所で保護猫避妊等手術中に遭遇。手術を拝見しドクターやボランティアの方から話を伺いました。その日はボランティアの方十名が対応していました。

「野良猫対策頑張ってください。」

☆高知新聞で紹介された尾首ドクターが改造された移動式の手術カ。 「大活躍です。」



食料自給率向上と四万十市新食肉センター整備の意義について

- 一、食料自給率を高める事について。
- 二、自給率向上のための畜産振興について。
- 三、四万十市新食肉センターへの積極的な支援について。

四、高知市と四万十市の新食肉センターを一体的に整備することについて。

☆日本における肉類の食料自給率は五六%。その向上の為に四万十市新食肉センター整備が求められる。県と四万十市で計画されている整備費については、予定している七市町村の負担軽減を行う為に県としての支援を。

野良猫の保護活動の支援について

- 一、収容数、殺処分数の推移の分析について
- 二、集中的手術の予算上限枠が増えた理由と事業効果について。
- 三、今後の取り組みについて。

☆県下でも野良猫問題は深刻。そんな中生き物の命を大切にしたいとボランティアによる野良猫保護活動が行われている。環境省の資料では妊娠猫が三年後には計算上二千頭になると言われている。県としても保護活動を支援するように。

中根佐知議員の質問（二問一答、五十分）

☆教育現場で起こったパワハラ、セクハラ事件。県教委の対応の強化を求める。

☆特別支援教育の現場で看護師の配置などの充実